

# 積極的に「選挙参加」

## 福井 青年推進員の委嘱式

本年度明るい選挙青年推進員の委嘱式が二十四日、福井市の県職員会館で開かれ、推進員たちは若者の投票参加の拡大を図っていくことを誓った。任期は二年。



黒田外来彦委員長（手前）から委嘱状を受け取る鈴木秀美さん＝福井市の県職員会館で

式では、各市町の選挙管理委員会から推薦を受け、た二十歳の代り九市八町の男女計五十人が県選管から委嘱された。推進員は研修会などを

通し、正しい選挙を推進する運動の中核を担う指導者として養成される。

式では、県選管の黒田外来彦委員長から、

代表の鈴木秀美さん（越前町）が委嘱状を受け取り、岡田峰典さん（勝山市）が「明るくきれいな選挙に向けて、若者のリーダーとして積極的に活動に参加していく」と誓った。

黒田委員長は「有権者が自らの意思で投票するよう推進し、県民に選挙政治に関心を持ってもらい、大切な一票を投じてもらう必要がある」とあいさつ

した。この後、研修会が開かれ、推進員は投票率の低下がもたらす影響などを学んだ。

（中西卓郎）

H20. 4. 25 福井

# 若者53人選挙に「役

## 県選管など推進員を「任命、

県選管と県明るい選挙推進協議会は二十四日、県内十七市町に住む二十代の男女五十三人を、「明るい選挙青年推進員」に



黒田委員長（左）から委嘱状を受け取る明るい選挙推進員の代表＝24日、福井市の県職員会館

委嘱した。若者の投票率が低下傾向にある中、地域のリーダーとして仲間を代表して越前町の団体を

職員、鈴木秀美さん（三）が、黒田外来彦県選管委員長から委嘱状を受け取った。続いて勝山市の自営業、岡田峰典さん（三）が「選挙は国民が政治に参加する重要な機会。若者の投票率アップとともに、明るくきれいな選挙の推進に努める」との決意文を読み上げた。

研修会では「投票率の低下と民主政治の危機」と題した琉球大教育学部の鳥袋純教授（行政学、地方自治論）の講演を聞き、教授が考案した「まちづくりゲーム」にも挑戦した。架空の地域に話し合いながら公共施設を配置するワークショップで、一人一人がまちづくりの主役であり、政策を選んで投票することの大切さを学んだ。